

松嶺焼き



山水図花瓶 (正面)
(酒田市指定有形文化財)

(背面)

土人形



出町人形「神功皇后」

広田人形「獅子舞娘」



(原型)

(土型正面)

(土型背面)

(人形)

鶴渡川原人形「熊と金太郎」

屋根瓦



里仁館跡地出土
似顔絵のある瓦



善導寺に寄進した人のへら書きのある瓦

酒田の焼き物



佐藤三郎氏デザイン抹茶碗
(個人蔵)



クラフト猿舎デザイン
絵皿 (個人蔵)



クラフト猿舎デザイン
コーヒー碗

子供達と焼き物



上田の土面



上田の土面



亀っ子焼き



佐藤十弥氏デザイン絵皿
(個人蔵)



佐藤十弥氏デザイン
徳利



東禅寺焼き花瓶



東禅寺焼き時計
(個人蔵)



東平田の復元窯で
焼いた花瓶



東平田の復元窯で
焼いた壺

第148回企画展

酒田と焼き物

— 土と炎の造形美 —



北前船で運ばれてきた伊万里焼きの皿



松嶺焼き芭蕉像
(酒田市指定有形文化財)

開催期間 平成19年

7月26日(木)~9月30日(日)

期間中無休

開催時間

午前9時~午後4時30分

入館料

大人100円・児童、生徒、学生50円
(小・中学生は土日無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544
e-mail : sakata-city-museum@fork.ocn.ne.jp

開 人びとは土が火の熱を受けると固まることを発見し、可塑性に富む粘土を用いて土器を作るようになりました。化学反応を利用した最初の道具作りの一つでした。日本では、旧石器時代の終わり頃の約1万3千年前に土器を作り始めたと言われています。酒田でも、縄文時代早期の土器が出土しています。

催 以来、人びとは縄文土器はじめ弥生土器、土師器、須恵器などの土器や陶磁器、楽焼きなど多様な焼き物に加え、土人形や瓦なども作り生活を豊かにしてきました。

に 本展では、市内の遺跡から発掘された各時代の土器や陶器、北前船などで運ばれてきた陶磁器、清水焼きの陶工を招いて始めた松嶺焼き、楽焼き、土人形、さらには古代の登り窯を再現して焼いた器物、防火用に葺いた瓦など、古代から現代までの幅広い焼き物に焦点をあて、土と炎が醸し出した造形美を紹介すると共に、これらを受け入れた感性豊かな人びとの心情に迫ります。

あ 本企画展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関並びにご協力賜りました多くの方々から御礼申し上げます。

た 【資料提供及び協力者】 助致道博物館、(財)本間美術館、(財)山形県埋蔵文化財センター、酒田市阿部記念館、同上田コミュニティ振興会、同出羽遊心館、同平田教育振興室、同八幡教育振興室、同松山文化伝承館、山形県立博物館、山口正博氏、中村貞氏

縄文土器



縄文時代中期の深鉢 (新山遺跡出土)

縄文時代晩期の鉢 (高畑遺跡出土)

縄文時代晩期の台付き皿 (高畑遺跡出土)

発掘された焼き物

弥生土器



弥生時代前期の短頸壺 (生石2遺跡出土)

弥生時代前期の壺 (生石2遺跡出土)

土師器



古墳時代前期の器台 (関B遺跡出土・山形県埋蔵文化財センター蔵)

須恵器



平安時代の長頸壺 (泉森南窯跡出土・山形県埋蔵文化財センター蔵)

中世陶器



珠州系陶器の大甕 (豊原B遺跡出土・山形県埋蔵文化財センター蔵)

北前船で運ばれてきた焼き物



北前船模型



伊万里染付け台付鉢



九谷焼徳利

酒田の焼き物

本間焼き



絵皿



伊万里色絵大皿

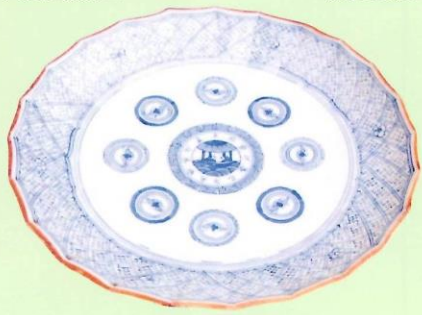
伊万里色絵皿



赤楽茶碗



黒楽茶碗



伊万里染付け大皿